

人、自然、科学を結ぶ 学研都市精華町

議会だより せいか

<http://gikai.town.seika.kyoto.jp/>

No.119

2008年(平成20年)
2月1日発行



祝園神社 いごもりまつり (五穀豊穡と無病息災 府指定無形民俗文化財)

CONTENTS

- P.2 本会議
- P.3 常任委員会
- P.5 **ここが聞きたい**
- P.12 委員会・会派の研修報告
- P.14 その後を追う
- P.15 **華のある街 40**
- P.16 ギャラリー “華”

12月
定例会

本 会 議

平成19年12月10日から21日までの12日間にわたって第4回定例議会が開催されました。主な内容をお知らせします。

国へ医療保険制度等に関する意見書提出

意見書(全文)

我が国の医療保険制度は、「誰もが、いつでも、どこでも」安心して適切な医療を受けられることができる国民皆保険制度として、国民の健康と福祉の向上に大きく寄与している。このことにより、世界トップレベルの長寿社会を達成し、維持することができ、他国に誇るべき制度として、高い評価を得ている。しかし、近年における著しい高齢化の進展や医療技術の進歩は、医療費の増加や医療関係者の疲弊を招来しつつあり、国を挙げての医療制度改革が求められている。

このような中、平成20年4月から、75歳以上の後期高齢者を対象とする独立した医療保険制度が創設されるなど、高齢者自身の保険料負担や自己負担率の見直しが行われようとしている。また、療養病床の再編、地方の医療機関や小児科、産婦人科等における医師不足の顕在化などにより、多くの国民は、将来において、安定的で質の高い医療を享受することに不安を抱いている状況にある。

よって、国におかれては、すべての国民が安心して、安全で良質な医療を引き続き受けられることができるようにするため、次の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1、国民皆保険制度を堅持し、低所得者の負担軽減を図ること。
- 2、平成20年度から施行する後期高齢者医療制度については、高齢者の誰もが安心して医療を受けられる制度となるよう財政措置を含

め必要な対策を講じること。

3、地域や特定の診療科の医師不足を解消し、地域間医療格差の是正のための実効ある措置を講じること。

〔全員一致可決〕

〈議決事項の結果〉

件 名	議決の結果
教育委員の任命同意を求める(中谷廣志氏・山田在住)	原案同意
平成19年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決
平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
平成19年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
平成19年度国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する郵便局の指定	原案可決
損害賠償額の決定	原案可決
字の区域の設定	原案可決
町道南・中学校線道路改良事業に伴う近鉄踏切部道路改良工事委託契約の締結	原案可決
平成19年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決

新人議員の紹介



平成19年10月14日の町議会議員補欠選挙で当選

寅井 しずこ

- ◆所属委員会
総務教育常任委員会
- ◆所属党派
民主党

11月臨時議会

平成19年11月29日に臨時議会が開かれました。内容を報告します。

議会委員会条例

一部改正

民主党会派結成により、運営委員会委員一名増員をします。

条例一部改正

人事院勧告に準拠し、職員の給与・扶養手当・勤勉手当を改定するものです。
〔全員一致可決〕

常任委員会

付託された議案の審議

予算決算

平成19年度
一般会計補正予算

(第4号)

・既定事業の追加計上
又は減額計上並びに組
替え補正財源更正等
補正額 7億9,913
万4千円の増額

環境衛生費

共同浴場運営事業

問 灯油、ガソリンなど燃料費全般の値上がりによる、影響について伺います。

答 変動状況の対応は考えていきます。値の変動は契約業者と話し

合い契約変更をします。
塵埃処理費

相楽郡西部塵埃処理

組合分担金

問 木津川市との協議は進んでいるか伺います。

答 財政も含め検討中です。特別委員会を設置し、鋭意努力をされています。

歳入

問 町税の個人税減の要因は何ですか。

答 見込んだ額より少ない事、調整控除が見込みより大きかった事です。

(全員一致可決)

(第5号)

・繰上返済の追加計上

対象1件 2,184

万円

利子軽減275万2千円

(全員一致可決)

平成19年度
国民健康保険事業
特別会計補正予算

・人間ドック検診の増額補正

補正額 242万5千

円

問 人間ドック検診の違いはないですか。

答 病院によって検診のやり方は統一されていません。効果的な検

診を検討協議します。

(全員一致可決)

平成19年度
国民健康保険病院
事業特別会計補正予算

・企業債の繰上返済に係る経費分

補正額 1億2,18

7万8千円

(全員一致可決)

建設産業

町道南・中学校線
道路改良事業に伴う
近鉄踏切部道路改良
工事委託契約の締結



近鉄踏切附近(旧ひょうたんや前)

請願

「近鉄狛田駅とJR下
狛田間のB地区再開発
事業について」

現段階では狛田駅西
および狛田駅中の開発
の方向性と手法が決ま
っていないことから継
続審議とします。

報告

鉄道運行上の安全、
軌道の保全および信号
等の鉄道施設を移設復
旧する必要があり、鉄
道事業者でなければ施
行が困難なため、近畿
日本鉄道(株)に工事
(1億227万円)委
託する。

問 工事期間中の夜間の交通規制について十分な配慮を求めます。

答 木津警察署と話し合い了解を得ているが注意して進めます。

(全員一致可決)



菱田・前川原線

民生環境

下粕郵便局の指定

郵政民営化法等の改正に伴い、引き続き下粕郵便局に特定の事務（住民票、印鑑証明書、外国人登録票の交付の請求の受付及び引渡しに関する事務）を指定します。

（全員一致可決）

損害賠償の決定

町訪問看護ステーションが訪問看護に係る入浴介助時に火傷を負わせた事故で賠償金219,240円（保険による支払い）で示談します。

（全員一致可決）

問 看護ステーションではどのような指導がなされているか伺います。

答 基本的な研修の実施、スタッフ同士の声

かけなど注意喚起を行っています。今後一層の指導を行います。

請願

■後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める

激論のうえ、賛成少数により不採択となりました。

総務教育

字の区域の設定

滝ノ鼻・菱田地区ほ場整備事業の区域について、基盤整備促進事業による換地処分に伴う新たな字界字名として設置する。

（全員一致可決）

請願

「教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める」

問 30人学級で対応出来るのか伺います。

《民生環境常任委員会 の視察》

・調査日 平成19年

11月28日

・調査場所 相乗作

業所

同所は、障がいの程度、違いを越えて、共に働き、共に生活をする力を養う施設です。

授産科目に陶芸、箱づくり、EMボカシづくりと平成16年度よりデイサービス的な活動も取り組んでおられます。

現在、生活介護、

就労継続支援は

定員42名。また

心身・精神障がい

者は定員8名の方が

が頑張っておられ

ます。その他に居

宅支援サービスケ

アホームとして「ゲ

ループホームサポ

ートセンター」で暮らしの支援の取組みも行っております。

施設長より「障がい者自立支援法導入により厳しい状況ではありますが、精華町は、財政面も含め大変協力いただいている事に感謝しています。」との言葉に今後とも議会として努力していかねばと思

いました。



報告

税の共同化

市町村と府の税務を共同化し、一元化します。公平公正で効率的な税務行政の確立を進めるためです。

AEDの 救命講習を 受ける

従来より、町民や役場職員を対象として講習会が実施されています。今回議会でも実施しました。

完成したほ場

13 **ここが** **聞きたい!**

が質問
しました。

1 問 1 答

※  は、文中以外の質問事項です。※質問者順に掲載しています。

Q 町内の施設及び農産物の ブランドで観光立町推進を 地域産業が観光に 結びつくように研究します

三原 和久

私のしごと館、そして、
ため努力が必要ではない
ビジネスに結び付ける
再度掘り起こし、観光
地域ならではの魅力を
指しています。そこで

円に上っています。自
策をさらに強力に進め
ていき、平成22年まで
に1千万人観光客を目
指しています。そこで

もたら
が成果を
意と努力
たちの熱
地元の人
をを目指す
域活性化
よりも地
録してい
最高を記
者は過去
国人旅行
昨年の外
国では、

Q わが
国では、
昨年の外
国人旅行
者は過去
最高を記
録してい
ます。何
よりも地
域活性化
を目指す
地元の人
たちの熱
意と努力
が成果を
もたら
しています。観光による
生産波及効果は約55兆
円に上っています。自
民党は「観光立国」政
策をさらに強力に進め
ていき、平成22年まで
に1千万人観光客を目
指しています。そこで

※地域安全・安心ス
テーション（子どもを
犯罪から守る地域力）
について質問しました。

「観光立町」の取り組
みがあるのでしようか
A 農業・学研施設・
寺社仏閣など連携を図
り研究します。



観光パンフレット

Q 小学校卒業まで医療費無料化を

今方 晴美

できるだけ早く現実のものにします

A



ハートプラスマーク



耳マーク

Q 小学校卒業まで医療費無料化を再度町長に求めます。

A 真剣に挑戦をしています。できるだけ早く努力を現実のものにします。

障がい者福祉環境の充実でやさしいまちづくりを

Q 内部障がい者の存在を視覚的に示すハートプラスマークの周知、啓発を求めます。

A 広報華創、町ホームページ

Q 公的窓口に耳マーク表示板を設置し聴覚障がい者の方々に対し目に見える配慮を求めます。

A 耳マークの表示を配置していき

Q 公的窓口に活字文書読み上げ装置を設置し視覚障がい者の方々の情報バリアフリーの促進を求めます。

A 拡大読書器、ルーペなどの機器導入を考えています。

Q 町民憲章の制定は

村上 吉彦

現段階では考えていません

A

Q 各自治体では、平和で豊かなまちをつくるため、郷土の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、住民一人ひとりが新時代にふさわしいわが町「ふる里」を築きあげるための道標として、守るべき規範を町民憲章として制定しています。わが町のまちづくりの目標であり誓いである町民憲章の制定を検討しているか。

A 地方分権時代に求められる自己決定、自己責任に基づく住民自治の発展のため、まちの個性への共通認識と

住民の自覚を高める必要性については理解するが、町長としてのまちづくりの基本理念は、あくまで任期中のもので、これを町の基本法として取扱うことは僭越至極であり、現段階では検討する考えはない。また町民憲章の制定に向けた委員会設置も考えていません。



町民憲章碑

Q 住民にわかりやすい組織名に

安宅 吉昭

十分配慮します



Q 行財政改革をダイナミックに推進するには組織改革、スピーディーで機動力ある組織が求められます。また、住民志向・住民視点の分かりやすい組織名でなければなりません。安全安心、健康長寿、子育て、住民参画、環境共生の名のつく組織名は考えませんか。

A コンパクトで機動力のある組織体制を構築していくことが課題であるとともに、政策の重点化に伴う名称表現や今日的な住民意向に対応した組織名は十分配慮します。

協働のまちづくりに予算を

町長はまちづくり



役場課名表示プレート

に3千人のボランティアの協力を得ていると言われているが、スクールヘルパー、クリーンパートナー制度をはじめとする協働のまちづくりに思い切った予算をつけられませんか。

A ボランティアの皆さんに感謝しています。改革の成果でお返ししたいと考えます。

Q 当町の実質赤字比率は

神田 育男

発生しません。18、19年も黒字の見通しです



財政の健全化計画は

Q 実質公債比率を下げるため①財政規模の拡大策②借入金削減策を伺います。

A ①企業誘致を強力に推進し税収増につなげます。②地方債の新規発行の抑制と、繰上げ償還制度の活用による債務残高の削減です。

指定管理者制度

Q 良好な施設管理と、住民サービスの向上を図る目的で、「町立精華病院」「光台コミュニティホール」に指定管理者制度を導入した。財政健全化計画で新たに導入する計画はありますか。

A 経費の削減を主に、両施設とも当初の目的・目標は達成してい



むくのきセンターの窓口

ると認識しています。次は、むくのきセンターを検討中です。

学校2学期制

Q 小学校に何故導入できないか、問題あるのなら戻せばよい、統一すべきです。

A 2学期制推進委員会が検証中です。今の状態が好ましいとは思っていません。

Q 健康診査の実態および今後の改善策は

より一層受診しやすいように努めます

寅井 しのぶ

A

「がん対策推進基本計画」の目標である「5年以内にがん検診受診率50%」の実現について、町の実態を伺います。①現況受診率は②受診率50%は現実可能か③受診一部負担金が近隣自治体と比較して2割程度高いように思うが是正する考えは④検診日及び場所の改善はありませんか。

①平均20%程度。②早急には難しいが普及に努めます。③町の場合一般検診に力を入れていく関係上一般検診を無料にしています。一方がん検診等は医療負担額にあわせて、3割としています。さまざまに自治体を

④国が閣議決定した「がん対策推進基本計画」の目標である「5年以内にがん検診受診率50%」の実現について、町の実態を伺います。①現況受診率は②受診率50%は現実可能か③受診一部負担金が近隣自治体と比較して2割程度高いように思うが是正する考えは④検診日及び場所の改善はありませんか。



※①役場の休日・時間外窓口の対応
②教育関係の広報物の発行について質問しました。

参考としていますので、現在のところは見直しする予定はありません。④今後より一層受診しやすい環境づくりに努めます。

Q 高齢者医療の充実を

負担増とならないよう働きかけます

奥田 登

A



池谷公園のテニスコート

④平成20年4月から、後期高齢者の医療制度が国民健康保険から分離「京都府後期高齢者医療広域連合」で運用されることとなります。被扶養者も保険料を納付しなければなりません。町民は、全体として保険料が高くなるのではないかと不安に思っている。

④町民の収入は、ほとんどが現状維持か減少傾向で、これ以上の負担を求めることは酷であると考えます。④国は、今後2年間に後期高齢者の負担について検討されます。できるだけ負担増とならないよう働きかけます。

池谷テニスコートの人工芝化を
町民の体育施設の整備は、それ自体経費を要することであるが、町民の健康が増進され、ひいては、医療費が削減される有効なものであり、早急な整備を求めます。
④財政状況を勘案しながら、改修をすすめます。

Q 妊婦無料健診5回に充実と 里帰り出産の改善を 前向きに検討します A

内海 富久子



- Q 厚労省が求めている最低5回が全国平均2.8回と下回る調査結果でした。
- 経済的な理由で受診をあきらめる妊婦を出さないことが重要だと、して再度各自治体に通達を出されました。共働き世帯で出産を控え、休職や退職のため一家の収入減で、健診を何回か飛ばされる方もおられ、経済的圧迫感を軽減するために無料健診の拡充を求めます。
- A 公費負担の回数を前向きに検討します。
- Q 里帰り出産で町の無料受診票が利用できない。現状制度の改善を求めます。
- A 他の自治体では、一部負担している先進例もあり、前向きに検討します。
- Q 住民の声を広く反映でき、わかりやすい手法を望みますが、19・20年度にかけて策定される地域福祉計画書の展望と手法を伺います。
- A 住民が主体の組織構成で来年度の策定に向けて、町の社協と一体となって取り組みます。
- 三世代が支えあう福祉のまちづくり**

Q 企業誘致にPR会社を利用しないか 課題として研究します A

高田 郁也

- Q 町財政の支出面については、行財政改革を推進中で歳出削減に努力されており、解される事は理解します。
- 一方収入も多くの努力が必要と考えます。そこで法人税の増収策について今回は特に学研施設への企業誘致について伺います。
- これについては現在、町長自ら企業に出向いて努力されていて、現にその熱心さによって進出を決定した企業もある事実を認識しています。そこでもう一歩踏み込んでPR会社を利用して学研施設をメジャーにすれば検討中の企業も立地を決定するのではと考えますが、これについて伺います。



学研企業用地

- A 現在はアンケート形式を主体に情報発信を行い、企業立地優遇制度をPRしています。その結果、問い合わせを受け、府・土地所有者・町が協同して誘致活動をしています。PR会社の利用については、費用対効果を調査し課題として研究していきます。

Q 後期高齢者医療制度4月実施中止を 高年齢福祉施策を 研究します

鈴木 秀行

A



コミュニティホール

- Q ①2年ごとの負担増に耐えられるか②保険証の取り上げは許されない③保険のきく医療費の上限は医療格差増大④問題のある後期高齢者医療制度の4月実施中止を政府に求めるべきと考えます。
- A ①公平な負担割合をされます②機械的処理はされませんが③現在中央社会保険医療協議会で検討されています。
- Q ④高齢者福祉施策を研究します。
- A ①2年ごとの負担増に耐えられるか②保険証の取り上げは許されない③保険のきく医療費の上限は医療格差増大④問題のある後期高齢者医療制度の4月実施中止を政府に求めるべきと考えます。
- Q 国保税見直し
- A 進捗状況と軽減措置に十分な配慮を求めます。
- Q 子どもの医療費無料化
- A ①町長の思いでもあり来年度から実施を②障害は③予算は約5千万円と思うが、何とか捻出できませんか。
- Q ①検討中です②財源と継続の問題です③一日も早い実現に取り組みます。
- A ①検討中です②財源と継続の問題です③一日も早い実現に取り組みます。

南部に公共施設を各地域に適正に配置の視点で求めます。強く認識しています。

Q まちづくり講座・住民懇談会実施は 研究・調査を進めます

松田 孝枝

A

- Q 町第4次総合計画の基本理念は「住民が主体」のまちづくりです。計画実現の具体化策として「まちづくり講座」「住民懇談会」などの早期実施を求めます。
- A 現在、検討委員会を立ち上げ検討中です。研究、調査を進めます。
- Q “協働”のまちづくりを進める上で「実施計画」の住民への公開を求めます。
- A 内部的には精査してきましたが、公表については今後、取り組めます。
- Q 子育て世代の就労支援
- A ほうその保育所は建て替えの見通しを伺います。
- Q ガイドラインに示された「障がい児の受け入れ」はどうですか。
- A 引き続き検討します。
- Q 財源確保に努め、整備完了を目指します。
- Q 途中入所も含め待機児童はでませんか。
- A ありません。
- Q 山田荘・精華台小の学童クラブは「ガイドライン」にそった施設整備を求めます。
- A 前向きに検討します。
- Q ガイドラインに示された「障がい児の受け入れ」はどうですか。
- A 引き続き検討します。



ほうその保育所

Q 元気な住民をふやす支援を 前向きに検討します A

佐々木 雅彦

Q ①無料妊婦健診の回数や範囲の拡大実施を②病气やケガの原因は、自己責任だけでないのと考えないのか③がん検診受診率向上策と先端がん治療の「ひかり医療センター」への姿勢を伺います。

A ①前向きに検討します。

②原則自己責任です。

③啓発し受診率の向上を目指します。ひかりセンターは、町としても努力します。

Q ①集会所建て替え時の地元負担条例は法に反するのではないかと②集会所のバリアフリー状況は、点検できているのか伺います。

A ①弁護士とも相談し整理します。②点検していない。手すりなどの改修は、地元と協議し進めます。

Q ①けいはんな線の祝園延伸に積極的に取り組むべきではないかと②学研エリアフリーパスの実現を求めます。

A ①まず、学研中心地までの延伸を要望し、次に祝園延伸を目指します。②いろんな機会に申し入れます。



スルッとKANSAI

Q 30人程度の学級編成を 府教委の動きを見て 検討します A

坪井 久行

Q 府教委の動きを見ながら、これまでの成果や課題を十分検証し、本町の学校施設等の条件を踏まえ、少人数学級編成も視野に入れて京都市少人数教育の充実に努めます。

狛田駅整備の前進を

Q ①駅北東からのアークセブ歩道の整備を②駅東への商

Q 府教委は、市町村教委の判断で、来年から段階的に30人程度の学級編成ができるように、必要な教員数を確保するプランを発表しました。ひとりひとりにゆきとどいた教育のために、30人程度学級を一刻も早く実現を求めます。

A 府教委の動きを見ながら、これまでの成果や課題を十分検証し、本町の学校施設等の条件を踏まえ、少人数学級編成も視野に入れて京都市少人数教育の充実に努めます。

A ①必要であると認識し、近鉄、地権者と調整します②地元商業者と調整します③再開発は研究し、まず駅東の事業に傾注します④有利な補助事業を使い、町負担の軽減に努めます。



小学校教室

議会運営

委員会・会派の研修報告

日程 平成19年11月20日～21日
場所 ①神奈川県横浜賀市議会
 ②東京都全国町村議会

内容
 ①議会活性化（議会権能の拡大とIT化）
 平成10年に「議会活性化委員会」を設置し、各会派から出された130項目のうち全会一致で80項目を答申されています。

平成13年には、「議会IT化検討会」と「議会制度検討会」を設置。「議会IT化検討会」は、市民に開かれた議会とするため本会議・委



員会のインターネット中継、議会ホームページの充実、会議録検索システムに、手話通訳と視覚障がい者向けに音声読み上げ機能がついている内容となっています。

②議会活性化（基本条例・進化の方向性）
 議長会政務調査部長より研修を受けました。特に強調されていたのは、「議会が変われば行政が変わる」「行政が変われば住民が変わる」「市町村が変われば日本が変わる」「市町村が元気になれば国が元気になる」そのため、議会を活性化することが重要であり、いいまちづくりを進めることができるという話を聞き、再認識しました。

総務教育

日程 平成19年10月29日～30日
場所 ①神奈川県横浜市防災センター
 ②東京都中野区教育委員会

内容
 ①防災
 18年4月の組織機構の再編により危機管理、防犯、防災そして消防

が一体となっていて、市民生活の安全確保を総合的に推進する「安全管理局」を設置されました。

センターは、市民防災教育の場として災害を知る・体験する・備えるの3つの展示ゾーンが設けられ、リアルなシミュレーション装置により体験できるようになっています。



②2学期制
 18年度までに、小学校5校、中学校全校において、2学期制を実施され固定的にとらえられていた教育課程の改善を図り、よりきめ細かな指導評価を行うなど充実した教育活動の展開を目指してこれ度からの全校実施に向け、各学校の特色ある教育活動を通して「生きる力」を定着させることができるよう一層充実した教育活動を展開されようとしています。

民生環境

活・文化環境
をよりよくす
る活動を行っ
ておられます。

日程 平成19年11月8
日～9日
21泊22日の

場所 ①岡山県笠岡市
議会
②岡山県倉敷市船穂町
堆肥センター

内容
①子育て支援
笠岡市は、「次世代
育成支援行動計画」を
作成、学童保育・障が
い児対策・病後児保育
等の事業をされていま
す。その事業の1つ、
NPO法人の子ども劇
場笠岡センターを視察
しました。1987年
に設立され3世代が交
流できる活動の場とし
て、演劇をはじめ、文
化・芸術の鑑賞、社会
体験、社会参画の機会
充実など、すべての子
どもたちを取りまく生

活・文化環境
をよりよくす
る活動を行っ
ておられます。
21泊22日の
キャンプでは、
子どもが本来
持っている力
を向上させ自
立を支援する
などすばらし
い成果を上げ
られています。

②ごみの減量
対策の取組み

平成7年に国の補助
事業で設立。農業から
出される残り物の野菜・
家庭からの生ごみを各
家庭から集めて有機微
生物群を加え発酵し乾
燥させ有機肥料を作ら
れている施設です。

建設産業

日程 平成19年11月12
日～13日

場所 ①岐阜県多治見
市議会
②岐阜県神戸町議会

営は農業公社がされて



います。

ごみの減量と農業推
進に積極的に取り組む
住民の意識の高さと見
識に感銘をしました。

内容

①多治見駅北土地区
画整理事業

・事業の目的 商業・
業務機能・駅前利用
性を活かした土地利用
を目指されています。

・整備方針の土地利用
計画では、商業地・住
宅地の調和、都市計画
道路を整備して区画道
路を配置、駅前広場の
整備の実施、さらに多
目的広場地域交流セン
ター・駅南北連絡通路
などがあります。

事業の最大の難関は
地権者の同意を得るこ
とでした。どのような
まちづくりを進めるか
区画整理の必要性につ
いて、地権者を含む市
民の合意形成に模型を
使った「お試しまちづ
くり」ワークショップ
などは、参考になりま
した。

②都市近郊農業と観光

濃尾平野の北西部の
人口2万人の町。農業
従事者は、1千人を超
えています。大量消費
都市の近くにあり、近
郊農業と観光に力をい
れられています。

また、工業団地の誘
致策にも積極的に取り
組まれています。近郊
農業の取り組みの1つ
として、若手野菜農業
者5人によ
る「健康野
菜村」を平
成7年に設
立、マネー
ジャー方式
を取り入れ
た農業経営
を実施され
ています。



新精会

日程 平成19年12月21日

場所 私のしごと館

目的 私のしごと館の運営実態の把握

施設内容

- ①わが国唯一の総合的キャリア形成支援施設であり、主として中学生、高校生を対象とし、職業体験の場の提供。
- ②職業適性検査や学校などで実施することが難しい体系的なサービスをワンストップで提供。
- ③職業観や勤労観を養う。
- ④個々人の適性に合った進路・職業選択の実施。
- ⑤若者がニートやフリーターになることを未然に防止。

など説明を受けました。18年度の利用者数は延べ、50万7千人であるとの報告を受けました。その後館内を視察しました。

施設を利用した生徒、引率の先生の感想抜粋
(生徒) 仕事に対する考えが変わり、自分の進路を決める材料になった。そして体験を通して自分を見つめ直すことができた。

(先生) 学校で教えるとは違って観念的になつてしまいが、見学したことから、生徒たちが正しい仕事観を再認識させることができた。

発達で、知識は持つています。しかし完成までのプロセスはあまり知らないのではないかと考えられる。私のしごと館は若者に対する教育上大切な重要な施設です。運営組織については課題が残るもこの施設は存続すべきです。

会派見解
現在の若者はメディアなどの



その後を追う

その後どこまで進んだ？

1

子どものいじめ対策は

**その時の答…
積極的指導・支援をします**

今は—— 早期発見・早期対応、未然防止に努めており、19年度から教育委員会内に学校支援チームを設置し、学校との緊密な連携のもと、支援体制の強化を図っています。(教育委員会)

2

学童保育

**その時の答…
6時以降の締め出しは回避しました**

今は—— 引き続き実態把握に努め、学童保育を含めた子育て支援全般の観点から運営のあり方について研究を進めています。(児童育成課)

3

障がい者施設が維持できるか

**その時の答…
聴き取り調査の結果、
トラブルはありません**

今は—— 経営的に苦しいが、努力していると聞いています。今後も注意して見守っていきます。(福祉課)

華のある街 40

手話ボランティアグループ

「めばえ」サークル（昼の部）・「竹とんぼ」サークル（夜の部）

言葉を指先に伝えて語られるその姿に、感動しました。

平成五年に結成した「竹とんぼサークル」、そして平成六年にスタートした「めばえサークル」も今では併せて四十二名の会員を要し、活動範囲は山城地域全域にひろがっています。また、サークル

のメンバー構成も多士済々です。

「手は言葉」と言われるように、手話を学ぶことを通じて、聴覚障がい者の立場にたつて暮らしの理解や生活情報の提供活動に積極的に取り組まれています。

月例会では、新しい手話の表現・読み取りの学習やビデオによる学習、また、障がい者との交流や訪問にも意欲的です。



「めばえ」サークル

言葉を表現する困難さもありますが、

「手話でコミュニケーションすることが好きだからいつも楽しいです。」と笑顔で応えられます。「障がいの有無にかかわらず、住民が生き生きと暮らせる町が実現するよう地道に活動を続けます」と熱く語られる姿に共感しました。



「竹とんぼ」サークル

議会だよりNo.118号の訂正とおわび

①3ページ上から2段目20行目から21行目「協力を強く申し入れます。」を削除し「今後の課題とします。」を挿入します。
②7ページの上から4段目10行目の後に「水道料金については今後検討しなければならぬ課題です。」を追加します。

あなたも議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は3月3日予定です

●日程については、精華町議会事務局へお問い合わせ下さい。

TEL:95-1908 FAX:95-3972

◆議会だより・会議録が
精華町議会ホームページより検索できます。

ギャラリー **華**

gallery HANA

精華台小学校
児童の作品



四年 九里 ひな

4年 九里 ひなさん



五年 三浦 一啓

5年 三浦 一啓さん



六年 西谷 祥平

6年 西谷 祥平さん



四年 山口 祐加子

4年 山口 祐加子さん



五年 早田 りさ

5年 早田 りささん



六年 上野 夏菜恵

6年 上野 夏菜恵さん

編集後記

平成20年も、はや一ヶ月が過ぎ、春の到来を告げる立春の季節となりました。

さて、昨年は明るいニュースも数多くありましたが、子どもたちが被害者となる暗い事件や、「偽」が一年を象徴する漢字として選ばれるほど、様々な偽装が発覚するニュースも多い年でした。

未来を担う多くの子どもたちはもとより、町民の皆さまのため、偽りのない、また、安心・安全なまちづくりに邁進していきます。

皆さんが誇れるまちづくりの推進、また、議会だよりの一層の充実のため、本年も皆さまからのご意見をお待ちしています。

まだまだ寒さの残る時期ですので、ご自愛ください。

〈TEL〉 95-1908
〈FAX〉 95-3972

〈メールアドレス〉 gikai@town.seika.kyoto.jp
〈ホームページ〉 <http://gikai.town.seika.kyoto.jp/>

発行所／精華町議会
TEL/0774(95)1908 FAX/0774(95)3972

編集所／広報編集委員会
TEL/0774(95)1908 FAX/0774(95)3972

印刷：株式会社 奈良県新聞広告社

2100 PRINTED WITH SOYINK 地球環境に配慮した用紙とインクです。